



横瀬町 グリーンインフラロードマップ

横瀬町

令和7年3月



目次

- 01 ロードマップの位置付け p. 2
- 02 グリーンインフラ導入のポテンシャル p. 5
- 03 グリーンインフラアクション p. 9
- 04 ロードマップ p. 13

01

ロードマップの位置付け

横瀬町グリーンインフラロードマップに期待する役割と構成について示しています。

概況

- ✓ 埼玉県の西部に位置し、総面積は約49.49Km²。そのうち、80%以上が森林となっています。
- ✓ 横瀬町の象徴と言える武甲山をはじめとした山林に加え、寺坂棚田などに代表される農風景や、横瀬川などの河川が町内を通過しており自然環境に恵まれています。
- ✓ 一方で、西武秩父線の横瀬駅、芦ヶ久保駅が設置されており、都心部へのアクセス性も高いです。

横瀬町の“みどり”の捉え方

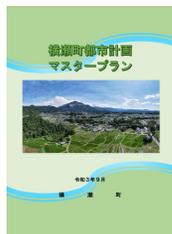
■第6次横瀬町総合振興計画



⑥の柱 景観環境づくり

自然を大切にし、身近に自然を感じることができて暮らしやすい住環境が整った、**自然と共存する暮らし**をはぐくみます。また、空き家や遊休農地を有効活用し、持続可能な生活環境を整えます。

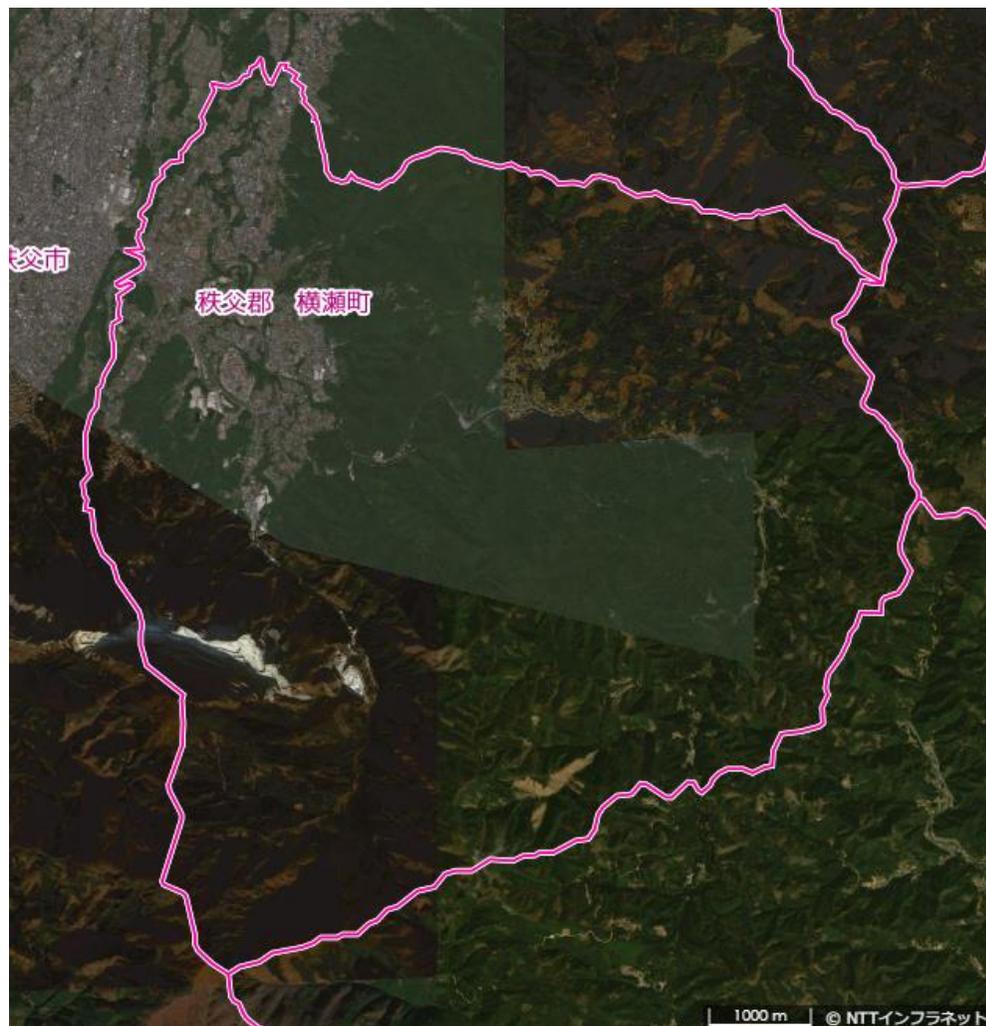
■横瀬町都市計画マスタープラン



将来都市像

人と自然が織りなす多様性のあるまち

武甲山や横瀬川などの**身近な自然と共生**し、田園空間と居住地がほどよく調和しているまち、安全・安心で利便性の高い生活空間があり、温かい人の輪と賑わいが地域社会にあり、住む人・働く人・訪れる人が個性豊かに暮らせる、過ごせるまちを目指します。



01 ロードマップの役割と計画構成

役割

- ✓ 本ロードマップは、横瀬町がこれからグリーンインフラを推進していく上で、第一歩を踏み出していくための指針として整理したものです。
- ✓ 官民で連携しながらアクションを実行していくためには、何を指しどのような道筋を進めていくかを共有することが重要です。
- ✓ その認識共有のための指針であり、またアクションを進めていく中で適宜見直していくことで、道筋を明確にしていくことを想定しています。そのため、今後の見直しを前提とした最初の指針となります。
- ✓ なお、本ロードマップでは、勉強会などでの地域の意見をもとにしたアクションのアイデアやその実施のステップを示していますが、各アイデアについては、事業内容の具体化や実現性等を検討したうえで、実施していきます。

<構成>

02 グリーンインフラ導入のポテンシャル

- ✓ 横瀬町としてグリーンインフラを推進する意義・目的を整理しています。その上で、グリーンインフラ勉強会の中で示された横瀬の資源を整理し、その資源を活用しながら実現を目指す姿を描きます。



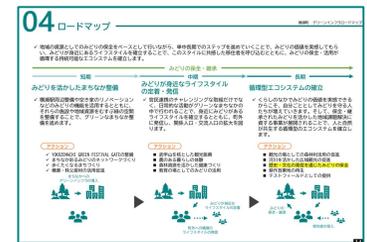
03 グリーンインフラアクション

- ✓ これからグリーンインフラの取組を展開していく中で、どのようなアクションが考えられるか、勉強会を開催し地域の皆さんと意見交換を行いました。ここでは、出されたアイデア等を6つのテーマに分けて整理しています。



04 ロードマップ

- ✓ グリーンインフラのアクションをどのようなステップで展開していくか、そのおおよその道筋をロードマップとして整理しています。



02

グリーンインフラ導入のポテンシャル

横瀬町としてグリーンインフラを推進する意義・目的を整理しています。その上で、グリーンインフラ勉強会の中で示された横瀬町の資源を整理し、その資源を活用しながら実現を目指す姿を描きます。

この目指すべき姿を関係者全員で共有することで、官民で連携しながらアクションを実施していきます。

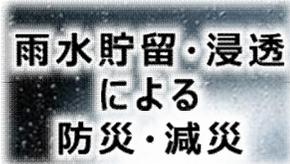
02 グリーンインフラとは

- ✓ グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。
- ✓ 横瀬町は、都市部へのアクセス性もある一方で自然環境に恵まれたまちとなっており、自然との共存がまちづくりのキーワードとなっています。その一方で、自然の有する多様な機能の活用が十分にされてきませんでした。そこで、まちの中心部では貴重な資源である“自然”を最大限活用するグリーンインフラによるまちづくりを推進することで、都市部からも人を呼び込む持続可能なまちとしての活性化を図ります。
- ✓ 横瀬町では、官民連携により自然の機能を地域課題の解決に活かすとともに、その活動に必要な資源として自然環境を保全する循環型のエコシステムを確立させる一連の取組をグリーンインフラとして定義します。



グリーン

自然環境の多様な機能

 <p>CO2の吸収</p>	 <p>生物の 生息・生育の 場の提供</p>
 <p>雨水貯留・浸透 による 防災・減災</p>	 <p>景観形成</p>
 <p>心身のリラックス</p>	 <p>物資の生産</p>



インフラ

社会資本整備、土地利用等

 <p>まちづくり</p>	
 <p>公園</p>	 <p>河川</p>
 <p>道路</p>	 <p>港湾</p>

02 みんなが思う横瀬の資源



- ✓ 地域のアイデンティティである武甲山
- ✓ 武甲山の森、表参道
- ✓ チチブイワザクラ
- ✓ 日向山（湧き水）
- ✓ 丸山の県民の森
- ✓ 天狗山
- ✓ 広葉樹の森・針葉樹の森
- ✓ 竹林
- ✓ あしがくぼの水柱
- ✓ 山の木を使う（バイオマス、ブランド木、燃料）
- ✓ ジビエ（害獣対策）
- ✓ キノコが豊富



- ✓ 寺坂棚田・棚田の景観
- ✓ ひゃくいち田んぼ
- ✓ 組合ごとの農地・田んぼ
- ✓ 観光農園
- ✓ 農村公園
- ✓ 羊山公園
- ✓ 耕作放棄地・遊休農地
- ✓ 大石中生（プラム）、さくらんぼ等のフルーツ
- ✓ 桑、秩父銘仙（シルク）
- ✓ 里山学習
- ✓ 四季の移ろい



- ✓ 横瀬川と多様な支流
- ✓ ウォーターパーク
- ✓ 川の生き物（秩父イワナ）
- ✓ あしがくぼ溪谷国際釣場



- ✓ 根古屋長寿会・子ども会
- ✓ 地区内の強いつながり
- ✓ 元気な高齢者
- ✓ yokoze oh!世っ会
- ✓ 観光協会（加藤創）
- ✓ 横瀬出身者との協働
※若林夏氏（イラストレーター）との協働
- ✓ 地域おこし協力隊
- ✓ 都会の人
- ✓ 若い世代（新しい感性）



- ✓ 田舎通り・芝桜
- ✓ 花咲山（斜面が急）
- ✓ 空き地・空き家
- ✓ あしがくぼ笑楽校（旧芦ヶ久保小学校）
- ✓ 古民家
- ✓ 温泉
- ✓ 道の駅
- ✓ 西武鉄道
- ✓ A.Sta.Ba（アスタバ）駅前
- ✓ 兔沢付近
- ✓ 下苧米
- ✓ 宇根（花の郷）
- ✓ のびのびした空間



- ✓ 札所ウォーク・巡礼道
- ✓ 根古屋城趾
- ✓ 町内の神社と寺（札所以外）
- ✓ 古御嶽 神社～城跡
- ✓ 資料館



- ✓ セメント工場の窯の熱
- ✓ 汚泥・石灰（資源）の活用

人と自然が共存するグリーンなまち

2018年度横瀬町策定

- ✓ 横瀬町は大半が森林となっています。その自然を守りながら、森林によりもたらされる資源や機能を市街地の地域課題解決に活用していくことで、“人と自然が共存するグリーンなまち”の実現を目指します。
- ✓ そのために、まずは横瀬駅から寺坂棚田やウォーターパーク・シラヤマ等までのまちなかエリアにおいて、駅前空間の整備や空き地活用とあわせたグリーンインフラの導入を推進するとともに、各資源を結ぶみどりのネットワークを整備します。
- ✓ まちなかでの自然資源の活用を通じて、自然と共生するライフスタイルを発信していくことで、関係人口・交流人口の拡大を図り、集まった人や知恵、資金を通じて生活・活動の基盤として武甲山をはじめとした森林等の自然環境を保全していきます。



03

グリーンインフラアクション

これからグリーンインフラの取組を展開していく中で、どのようなアクションが考えられるか、勉強会を開催し地域の皆さんと意見交換を行いました。ここでは、出されたアイデア等を6つのテーマに分けて整理しています。

人と自然が共存するグリーンなまちの実現に向けて、これらのアクションの事業化を検討していきます。

03 アクションのアイデア

みどり × まちなか

横瀬町の玄関口として、町民の生活の中心であるとともに、町外からの来訪者も多く訪れる、横瀬駅を中心としたまちなかにおいて、グリーンインフラを活かした空間整備を推進することで、みどりのある暮らしを実感できるまちなかを形成します。

みどり × 観光・交流

横瀬町のシンボルである武甲山を中心に、森林や農園等のみどりの資源を活かした体験型の観光振興を推進するとともに、芦ヶ久保駅周辺等において活動の中心となるグリーンインフラの拠点整備を推進することで、関係人口・交流人口の拡大に向けたみどりによる内外の接点づくりを進めます。

💡 アクションのアイデア

- ✓ 横瀬町グリーンインフラ共創拠点の整備 ※P15参照
 - 車両基地を活用した横瀬駅周辺の整備
 - みんなで育てるグリーンアクティブパーク整備（兎沢）
 - 産学官民交流によるみどりの協創の場づくり
- ✓ まちなか彩るみどりのネットワークづくり
 - 歩いて楽しめる田園フットパスの整備
 - 空き地等を活かしたポケットパーク整備
 - 地域産材とみどりを活用した空き家リノベーション
- ✓ まちなか水辺づくり
 - 横瀬川周辺の整備・活用

💡 アクションのアイデア

- ✓ 芦ヶ久保駅周辺のグリーンインフラ拠点整備
 - 秩父地域の山林・山遊びの接点になる体験・発信拠点の整備
 - 旧芦ヶ久保小学校校庭を活用した自然体験型の遊び場整備
- ✓ 武甲山を核とした観光振興
 - 民間事業者と連携した武甲山のイルミネーションやライトアップ
 - 石灰石産業・武甲山を活かした体験コンテンツの提供
- ✓ 観光の場としての森林利活用の促進
 - 森林サービス産業の促進
 - 雲海を活かした観光コンテンツの提供
- ✓ 農のある暮らしの体験
 - 体験農園・シェア農園の整備
 - 地産地消の食育コンテンツの提供
- ✓ 河川を活かした広域観光の促進
 - 沿川自治体と連携した荒川くだりツアー

03 アクションのアイデア

みどり × 健康

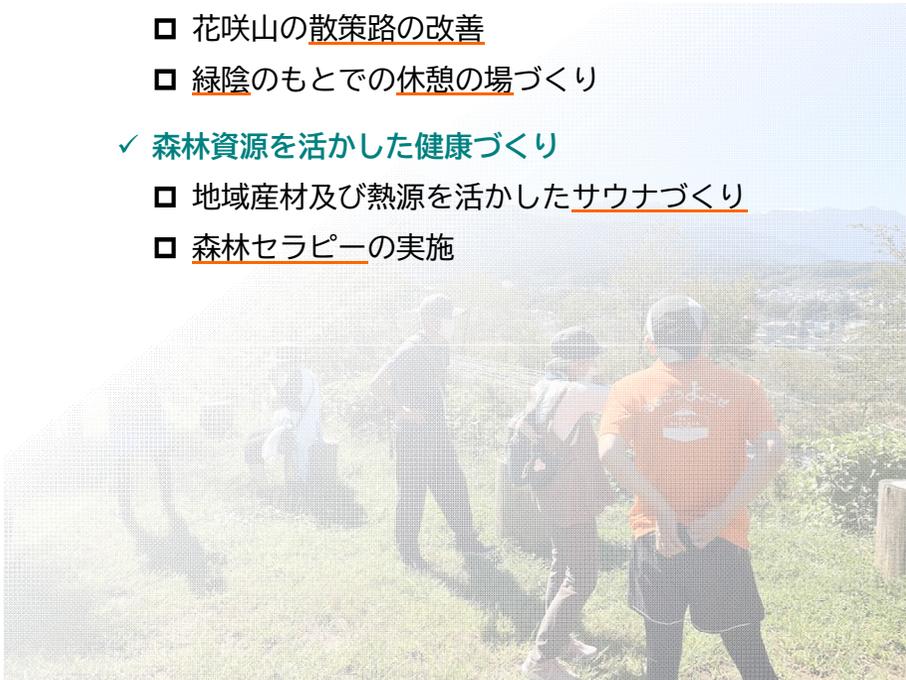
みどりには健康増進効果があることが研究等で明らかにされています。また、WOOD DREAM DECKプロジェクトによる秩父産の木材を活用したサウナづくりなどが行われています。こうしたみどりの有する機能やみどりのもたらす資源を活用した健康まちづくりを推進します。

みどり × 学び

恵まれた森林や河川等のみどりを活かした、野外保育や野外体験学習などを推進するとともに、そのためのフィールド整備を進めることで、非認知能力などを高めるみどりの中の子育て・教育できる環境づくりを進めます。

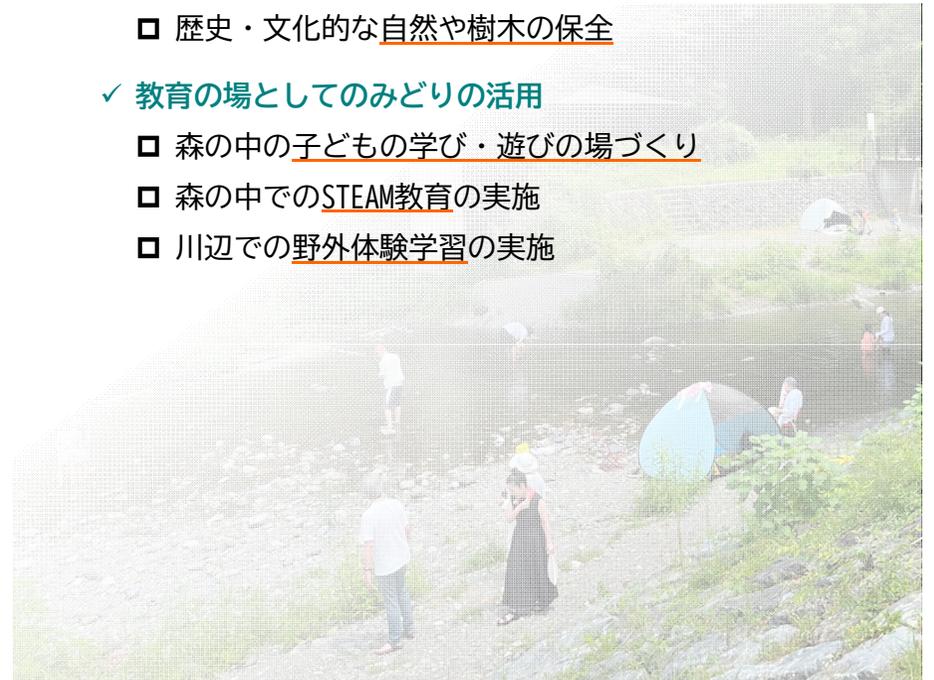
💡 アクションのアイデア

- ✓ 歩くたくなるまちづくり
 - クアオルト健康ウォーキングの促進
 - 花咲山の散策路の改善
 - 緑陰のもとでの休憩の場づくり
- ✓ 森林資源を活かした健康づくり
 - 地域産材及び熱源を活かしたサウナづくり
 - 森林セラピーの実施



💡 アクションのアイデア

- ✓ 自然と結びついた歴史・文化の発信
 - お祭りの復活
 - 歴史・文化的な自然や樹木の保全
- ✓ 教育の場としてのみどりの活用
 - 森の中の子どもの学び・遊びの場づくり
 - 森の中でのSTEAM教育の実施
 - 川辺での野外体験学習の実施



03 アクションのアイデア

みどり × 産業

前述したWOOD DREAM DECKプロジェクトや横瀬小学校等、秩父産材の活用がされています。こうしたまちなかの建物のリノベーションや木材チップ等への活用を推進するとともに、未利用な農地や森林等を活かした、官民連携による実証や事業化を進め、地元の森林との循環を感じられるまちづくりを推進します。

みどりの の保全

これまでに示した5つのテーマのアクションを持続的に推進していくためには、豊かなみどりを健全なまま状態を維持し、その上で機能を最大限発揮していくことが重要です。そのためにも、町民、企業、横瀬町が連携し、地域の大切な資源・アイデンティティとして、みどりを保全・継承していきます。

💡 アクションのアイデア

- ✓ 横瀬・秩父産材の活用促進
 - 地域産材とみどりを活用した空き家リノベーション（再掲）
 - 地域産材及び熱源を活かしたサウナづくり（再掲）
 - 木材チップの活用
- ✓ 耕作放棄地の再生
 - シルク蚕業の体験農園としての活用
 - ポケットパークとしての暫定利用の検討
- ✓ テストフィールドとしての提供
 - 町内の緑地・森林での実証実験の積極的な受入
 - よこらぼと連携したみどりを活かしたチャレンジ事業の促進

💡 アクションのアイデア

- ✓ 横瀬のみどりの保全・継承
 - 企業、町民と連携した保全・植樹
 - 横瀬のみどりに関する環境教育
- ✓ 生態系の保全・再生
 - 保持林業の実施
 - 生態系に配慮した利活用
 - チチブイワザクラ等の固有種再生
 - 利活用による収益を利用した生態系保全の仕組みづくり

04

ロードマップ

グリーンインフラのアクションどのようなステップで展開していくか、そのおおよその道筋をロードマップとして整理しています。

既存の事業の動きを踏まえながら、着実に取組を進めていくことで、目指すべき姿を具体化していきます。

✓ 地域の資源としてのみどりの保全をベースとして行いながら、短中長期でのステップを進めていくことで、みどりの価値を実感してもらい、みどりが身近にあるライフスタイルを確立することで、このスタイルに共感した移住者を呼び込むとともに、みどりの保全・活用が循環する持続可能なエコシステムを確立します。

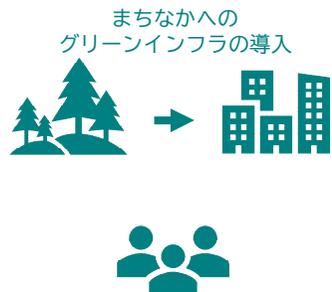


みどりを活かしたまちなか整備

✓ 横瀬駅周辺整備や空き家のリノベーションなどのみどりの機能を活用するとともに、それらの施設や地域資源を結ぶみどりの空間を整備することで、グリーンなまちなか整備を進めます。

アクション

- ✓ 横瀬町グリーンインフラ共創拠点の整備
- ✓ まちなか彩るみどりのネットワークづくり
- ✓ ワークショップ・勉強会等の開催
- ✓ 歩きたくなるまちづくり
- ✓ 横瀬・秩父産材の活用促進



みどりが身近なライフスタイルの定着・発信

✓ 官民連携のチャレンジングな取組だけでなく、日常的な活動がグリーンなまちなかの中で行われることで、身近にみどりがあるライフスタイルを確立するとともに、町外に発信し、関係人口・交流人口の拡大を図ります。

アクション

- 武甲山を核とした観光振興
- 農のある暮らしの体験
- 森林資源を活かした健康づくり
- 教育の場としてのみどりの活用



循環型エコシステムの確立

✓ 暮らしのなかでみどりの価値を実感できるからこそ、自分ごととしてみどりを守る人たちが増えていきます。そして、保全・継承されたみどりを活かした地域課題解決に資する事業が展開されることで、人と自然が共生する循環型のエコシステムを確立します。

アクション

- 観光の場としての森林利活用の促進
- 河川を活かした広域観光の促進
- 自然と結びついた歴史・文化の発信
- 耕作放棄地の再生
- テストフィールドとしての提供



04 まちなか整備のイメージ

- ✓ ファーストステップとして、グリーンインフラを活かした居場所となる拠点の整備と拠点間を結ぶ、みどりのネットワークの整備により、グリーンインフラを導入したまちなか整備を推進します。

●拠点：横瀬町グリーンインフラ共創拠点の整備

【共創HUB】

- ✓ エリア898及びその周辺施設において、町民が主体的に学べる活動施設を整備

【共創プラットフォーム&グリーンゲートウェイ】

- ✓ 車両基地・駅前において、自然の恵みを活かした商品やサービスなどの提供・体験できる場の整備

【アクティブパーク】

- ✓ 兎沢町有地において、グリーンインフラを体感できるイベントや場を整備

【インターフェースエリア】

- ✓ ウォーターパーク・シラヤマ、寺坂棚田において、親水空間の整備や農地・林地を活かし、グリーンインフラの実証・実装の場を整備

●ネットワーク：

まちなか彩るみどりのネットワークづくり

【メイン動線】

- ✓ 上記拠点を結ぶ県道231号線及び国道299号をメイン動線と位置づけ、街路樹等の整備を推進

【田園フットパス】

- ✓ メイン動線や拠点からの回遊を促すサブ動線を田園フットパスと位置づけ、周辺の景観と調和したポケットパークや植栽等による整備を推進

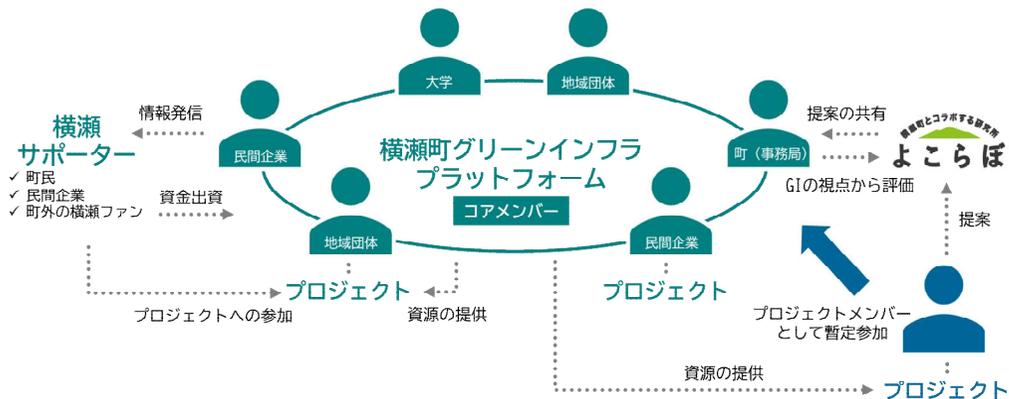
【まちなか森林活用】

- ✓ 地域産材を活用した空き家改修やベンチ等の整備



推進体制

- ✓ 横瀬町のグリーンインフラ推進に係るステークホルダーが一堂に会するプラットフォーム（以下PF）を設立し、官民で情報を共有しながらアクションを推進します。また、よこらぼへの提案のうちグリーンインフラプロジェクトにマッチするものはこのPFとしてもアクションを支援します。
- ✓ 各メンバーの取組を横瀬町のグリーンインフラプロジェクトとして一体的に情報発信するとともに、活動に共感してもらえた“横瀬サポーター”に応援してもらえるスキームを検討します。



グリーンインフラプラットフォームの役割

- 1 グリーンインフラについての官民共創勉強会及びロードマップの進捗管理・見直し
- 2 各メンバーの活動状況等に関する情報共有・連携検討
- 3 ロードマップと整合したプロジェクトへの資源（ヒト・スキル・資金）の提供 ※よこらぼと連携
- 4 グリーンインフラプロジェクトとしての一体的な横瀬サポーターへの情報発信

資金調達手法

- ✓ 取組を推進していくためには、公的資金だけでなく町外からの民間資金を活用していくことも重要です。そのため、以下のような資金調達手法の可能性についても、アクションの具体化とあわせて検討していきます。

クラウドファンディング

インターネットを通じて、取組の企画やアイデアを不特定多数の人に発信し、その考えに共感した人から資金を募る制度。資金提供者には発案者からのリターンがあることが多い。

企業版ふるさと納税

事業者によるふるさと納税制度であり、納税者は税額控除を受けられ、自治体は活動資金を確保でき、事業者は、税制の優遇のほか地域貢献を通じたPRなどが可能。

カーボンのクレジットの売却

森林管理を通じた吸収源対策によるCO2固定量を「クレジット」として売却できる制度。国が認証するJ-クレジット制度を活用し、クレジットを売却することで維持管理や活動費用の補填が期待できる。

NFTの発行

自治体がNFTを発行し、販売もしくはふるさと納税の返礼品等とし、活動資金の調達を行う方法。NFTとしては、横瀬の写真や横瀬出身者とコラボしたアートのデザイン等が想定される。また、NFT所有者へのサービスを設定するも可能。
※NFTとは：偽造不可能な所有証明書付きのデジタルデータを指す。NFT自体の転売も可能であり、その場合発行元に手数料が入る設定等にすることも可能。